

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和3年4月5日（月） 10時30分から12時
会 場	南中野区民活動センター 多目的ホール
テ ー マ	中野区基本計画（素案）・中野区区有施設整備計画（素案）について
出席者 区 民	計19人
区 側	区長、企画部長、構造改革担当部長、子ども家庭支援担当部長、企画課長、基本構想担当課長、財政課長、南部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
一 時 保 育	無
手話通訳・要約筆記	無

区長あいさつ	
<p>本日は、基本計画・区有施設整備計画の素案に関する意見交換会である。3月に区議会での議決を経て、中野区において最上位に位置する基本構想を改定した。基本構想の中では、まちの将来像として「つながる はじまる なかの」を掲げている。中野区では、人と人とがつながり、新たな価値を生み出していくことを大切にしたいと考えている。</p> <p>その基本構想を実現するための計画が、基本計画及び区有施設整備計画である。基本計画は、将来人口推計や財政見通しを踏まえ、区が取り組むことを体系的に示している。中野区の総人口は、2035年をピークに、その後は減少に転じる見通しである。また、高齢化が一層進展し、65歳以上の人口は増加傾向が続く。そうした中でも行政サービスを維持していく必要があると考えている。</p> <p>区有施設については、現在、築50年以上の建物が全体の約3割を占めるなど、老朽化してきている。子どもの数の減少に合わせて学校の統廃合を行ってきたことにより、学校数は減ったが、施設については老朽化している学校が多い。学校施設の建替え等については、未来ある子どもたちの施設であるため、最優先で行っていく必要があると考えている。ただ、学校だけでなく、これから更新する必要がある施設は多くあるが、財政見通しを考えると全てを更新することはできない。財政の見通しを立て、10年後を見据えた上で、長期的な視点も持って施設の更新を進めていきたい。</p> <p>本日は、区政に対して、皆さんが日頃感じていることについてのご意見などもいただきたい。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>児童館は、乳幼児親子から中高生まで幅広い年代が利用しており、重要な拠点だと感じており、今後も区の直営で運営してほしい。学童クラブは、現在、民間に委託されているが、子どもを安全に預かることを第一に考えた運営となっている一方、子どもが冒険できるような活動が少ないと感じる。</p>	<p>児童館は、様々な児童・生徒の放課後の居場所であり、支援が必要な子どものセーフティネットとなっている。運営形態については、今後、検討していきたい。</p>
<p>統合新校では想定していた児童・生徒数を超え、教室が不足している学校もあると聞いた。想定を超え子どもが増えることもあるので、学校跡の土地については、すぐに別の用途として活用するのではなく、しばらく残してほしい。</p>	<p>統合新校の新しい校舎を建てる際には、教室に余裕をもたせている。建替中の学校や、今後、建て替える学校では教室が不足することがないようにしたい。学校跡の土地については、原則、区で活用することを考えている。</p>
<p>政策に記載されている「現状値」は、何の調査によるものか記載してほしい。</p>	<p>2020中野区区民意識・実態調査によるものである。計画の記載については検討する。</p>
<p>地域開放型学校図書館は、蔵書数が少なく、スペースも狭いため、図書館の機能としては不十分だと思う。運用状況を検証するとあるが、検証結果は、速やかに広く周知してほしい。</p>	<p>地域開放型学校図書館については、蔵書数や開館日が少ないなど、課題があると考えている。今後、検証し、判断していきたい。また、その検証結果については適切な周知に努めていきたい。</p>
<p>基本計画（案）についても、意見交換会を実施してほしい。</p>	<p>多くの区民から意見を聴くために、丁寧な進め方を検討していきたい。</p>
<p>事前に、紙でも資料を配付し、区民から意見を聞く機会をさらに設けてほしい。</p>	
<p>憲法擁護・非核都市としての取組をしっかりと位置付け、進めることにより、平和について、考え・学び・行動する区民を増やして欲しい。</p>	<p>令和2年度に麒麟レモンスポーツセンターに、平和資料展示室を設置した。展示室での展示などを通じて、子どもたちや区民に平和の理念を共有していきたい。憲法擁護・非核都市宣言の趣旨についても、次世代にしっかりと引き継いでいく必要があると考えている。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>旧新山小学校跡地は大半が国有地だったと認識しているが、将来的には区はまちづくり用地として確保すべきである。</p>	<p>旧新山小学校跡地は、ご指摘のとおり、大部分が国有地である。南台4丁目については、防災上の課題があり、まちづくり用地として活用したいと考えている。区が土地を取得するか、借り続けたままとするか等は、今後、検討する。</p>
<p>外国人住民は、近くに相談相手がいない人が多く孤立しやすいので、相談、情報交換や交流できる場を強化してほしい。</p>	<p>「施策2 多文化共生のまちづくりの推進」に外国人住民等が暮らしやすい生活の支援について記載している。現在、区では、広報の多言語化に力を入れているほか、区の窓口に翻訳機を導入するなど、相談機能の充実を図っている。今後も、国際交流や多文化共生事業の充実等を通して、外国人同士の情報交換や交流の機会を増やすよう努めるなど、必要な支援を検討していきたい。</p>
<p>女性活躍について盛り込んでほしい。男女共同参画について、日本は国際的に遅れており、中野区は全国の自治体に先立った取組を進めてほしい。</p>	<p>「施策1 人権と多様性の尊重」に男女共同参画社会の実現について記載しており、取組を推進していく。現在、男女共同参画・多文化共生推進審議会を設置し、新たな条例の制定に向けて、区として取り組んでいくべき点などについても議論しており、そうした議論も踏まえながら、今後も、男女共同参画を推進していきたい。</p>
<p>旧中野刑務所正門は、歴史的建造物であり、その歴史を区民に広く知ってもらう必要がある。哲学堂についても同様であり、区が歴史的建造物を大事にするという姿勢を示してほしい。</p>	<p>旧中野刑務所正門及び国指定名勝哲学堂公園については、今後も保存し、後世に適切に引き継いでいく。</p>
<p>基本計画において、元気な高齢者については具体的に書かれていない印象だ。地域で活動したい高齢者に向けた支援策を講じてほしい。</p>	<p>「施策30 多様な交流・つながりを育み、いつまでも活躍できる環境づくり」において、具体的な取組について記載している。シルバー人材センターへの支援や地域人材のマッチングなどを行っていききたい。例えば、公園の管理や、子どもの見守り・子育て支援について、高齢者の力を借りたい。活動する意欲はあっても、情報や活動する場がないといった人と、支援を必要としている人とをつなげる役割を区が担っていききたい。</p>
<p>ホームページの区長の部屋に、区政への提案箱というページがある。令和3年度予算の主な取り組み（案）を踏まえた提案したが、返事がない。また、提案に対する回答が、2018年を最後に更新されていないようだ。対応状況を問う。</p>	<p>早急に調べて対応する。</p>
<p>区は、民営化を進めているが、どの程度効果が出ているのか。</p>	<p>民営化の効果を区有施設の床面積で見ると、2000年頃がピークであり、現在は大幅に減ってきている。昨年度に新体育館が竣工したことなどがあり、直近では増加傾向にあるが、施設配置の見直しの効果である。</p>
<p>キッズ・プラザにおいて、ボランティアのニーズに応えられるような体制を整えてほしい。また、新しく学校施設を建てる際には、ボランティアのニーズについても反映されたものとしてほしい。</p>	<p>学校支援ボランティアの実態を把握し、コミュニティ・スクールと一体的に進めていく「地域学校協働活動」の検討の中で生かしていきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>区職員のうち、区内在住の職員は何名程度いるのか。地域に貢献するとともに、地域を共に良くしようという職員が増えてほしい。</p>	<p>職員は、現在は約2,000人。その内、区内在住の職員は2割程度である。区の課題を生活の中で感じられるため、中野区に住む職員が多いと良いと考えている。</p>
<p>本町図書館の跡地に民間施設の誘致を検討するとある。児童福祉施設や介護施設が必要だとは感じているが、施設の設置にあたっては、地域との協力・協調が必要だと思うので地域住民の声を聞いてほしい。また、跡地にできる施設には地域のコミュニティスペースなど、地域の多世代が利用できる場を設けてほしい。</p>	<p>地域には、しっかりと説明していく。また、新しい施設には、地域の人が使えスペースをつくるなど、検討していく。</p>